



6月19日以降に公示される国政選挙から選挙権年齢が満18歳以上になります。

日本は少子高齢化、人口減少社会を迎えています。日本の未来を担う存在である10代の若い人達にも、政治に参加してもらう必要があります。

早い段階で選挙権を持つということは、社会の担い手であるという自覚が芽生え、主体的に政治に関わることに繋がります。

若い人の投票率を上げることに、若い声が政治に届きやすくなります。その結果、若い人に向けた政策が実現しやすくなり、先進的な地域づくりが構築されることでしょう。

ひとりでも多く投票に参加し、私たちの希望を実現していきましょう。



▲大村 侃さん(左)、城間 有貴さん(中央)
我部 拓海さん(右)

今年の参議院議員選挙から選挙権が18歳以上に引き下げられ、若い人が政治に参加できるようになりましたが、まだ戸惑っている人も多いためです。

投票が迫っている中、若い人がどう思っているのか、専門学校那覇日経ビジネスに協力いただき取材しました。

今回協力してくれたのは、浦添市在住の**大村侃さん**、**城間有貴さん**、**我部拓海さん**の3人です。勉強で忙しい時期ではありますが、丁寧な回答をいただきました。



●部活動や勉強などで忙しく、政治に興味がないの**間さん**

●私たちの投票が増えるとともに、全体の政治意欲が上がっていくものだと考えています。**(大村さん)**

●早いと思います。周りの現状などが分からないうちに投票してもいい結果にはつながらないと思います。**(城間さん)**

Q2 選挙権が18歳に引き下げになったことについてはどのように考えますか？

Q1 選挙はどんなイメージですか？

●自分たちが政治をしてほしい人に望む、期待の大きさを表すものだと思います。**(大村さん)**

●年齢の高い人たちが参加していて、若い人はあまり参加してないイメージです。**(城間さん)**

●誰に入れても、自分から言わない限り秘密が守られ、プライバシーが高いと思います。**(我部さん)**

先生の考える18歳選挙権

6月に、学校全体で選挙制度についての授業を予定しています。選挙権を獲得していることを自覚させ、政治を理解して今後自分たちが政治に参加していく意識を持ってくればと思います。



▲与那嶺 哲先生

はい!! 行きます!!
(3人)

Q4 今回の選挙、行きますか？

●身近に体験できる政策だと、興味を持って調べると思っています。**(我部さん)**

●自分達の身近な所で、どのような変化があるかという事が分かれば、多少興味が湧くと思います。**(大村さん)**

Q3 若い人達が選挙に興味を持つにはどんなことをしたらいいと思いますか？

●自分達の身近な所で、どのような変化があるかという事が分かれば、多少興味が湧くと思います。**(大村さん)**

浦添市の家計簿

問い合わせ
財政課
☎(876)1234
(内線2117)

平成27年度下半期財政状況(平成28年3月31日現在)

浦添市の家計簿は、予算の執行状況や市有財産の状況、市の借入金等を中心に年2回公表しております。一般会計と特別会計の収入、支出については、出納整理期間が5月31日までとなっていますので、最終的な決算額は、6月1日以降になります。

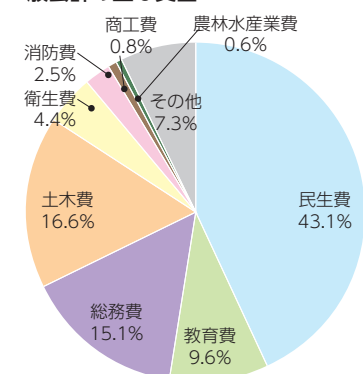
人口	113,580人
男	55,348人
女	58,232人
世帯数	47,384世帯
面積	19.48km ²

一般会計予算執行状況

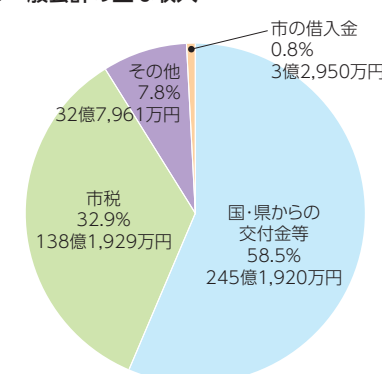
歳出科目	予算現額		支出済額		執行率
		構成比	()内は人件費		
民生費	217億8,152万円	43.1%	203億7,380万円	(8億8,739万円)	93.5%
教育費	48億2,402万円	9.6%	42億838万円	(8億7,521万円)	87.2%
総務費	76億677万円	15.1%	65億7,041万円	(20億9,379万円)	86.4%
土木費	84億158万円	16.6%	66億265万円	(4億8,263万円)	78.6%
衛生費	22億2,866万円	4.4%	21億1,141万円	(2億4,995万円)	94.7%
消防費	12億4,919万円	2.5%	10億8,305万円	(7億942万円)	86.7%
商工費	4億417万円	0.8%	3億8,345万円	(5,428万円)	94.9%
農林水産業費	2億8,492万円	0.6%	2億4,787万円	(2,683万円)	87.0%
その他	37億1,665万円	7.3%	36億4,593万円	(3億6,224万円)	98.1%
総額	504億9,749万円	100.0%	452億2,694万円	(57億4,174万円)	89.6%

※各項目の合計と総額との相違に関しては、端数処理による。

●一般会計の主な支出



●一般会計の主な収入



●市民一人当たりに使われる主な経費

- ・民生費 191,773円 (生活保護、児童・母子・障がい者・老人の福祉増進など)
- ・教育費 42,472円 (学校の管理・運営・増改築など)
- ・土木費 73,971円 (道路・街路・公園の建設・整備・維持管理など)
- ・衛生費 19,622円 (病気の予防・ごみ処理・公害対策など)

●市税の徴収状況(3月末時点)

	本年度課税分		滞納繰越分	
		徴収率		徴収率
収入済額	136億6,068万円	97.1%	1億5,862万円	36.6%
徴収すべき金額	140億7,535万円		4億3,386万円	

各会計予算執行状況

会計名	予算現額	収入済額	支出済額	執行率
一般会計	504億9,749万円	419億4,760万円	452億2,694万円	89.6%
特別会計	国民健康保険	173億8万円	161億56万円	93.1%
	土地区画整理事業	26億2,707万円	19億7,158万円	79.9%
	公共下水道事業	20億703万円	17億4,325万円	92.0%
	介護保険	64億2,789万円	61億5,007万円	95.8%
	後期高齢者医療	8億9,984万円	9億733万円	96.0%
水道事業会計	収益的収入	26億685万円	26億3,699万円	101.2%
	収益的支出	25億9,048万円	24億5,661万円	94.8%
	資本的収入	1億293万円	7,651万円	74.3%
	資本的支出	4億3,423万円	3億1,573万円	72.7%

●市の借入金(3月末現在)

借入現在高	390億6,947万円
市民一人当たりの借金	34万円
一日当たりの支払利子	162万円

●一時借入金の状況(3月末現在)

一般会計	0円
国民健康保険特別会計	0円
介護保険特別会計	0円
公共下水道事業特別会計	0円
土地区画整理事業特別会計	0円
水道事業会計	0円

市有財産の状況

土地
1,720,382m²

建物
279,884m²

基金
127億3,798万円

有価証券
1億5,280万円